

＜打上花火有料観覧席設置に至るまでの経緯について＞

第４１回「泉区民ふるさとまつり」は、コロナ対策の行動制限が解除されたことから感染防止に配慮し、令和５年８月２６日やまいちサステナパーク七北田公園を会場に４年ぶりに通常規模で開催し、ふるさとの夏祭りの再開を待ちわびた大勢の来場者で、コロナ前を上回る賑わいを見せました。

しかし、まつりの代名詞である打上花火は、新規協賛者はあったものの、協賛金収入は当初計画を下回り、また、更に物価高騰による経費増と相まってしまい、花火打上発数は当初目標としていた４，５００発から１，０００発に縮小せざるを得なく、花火を楽しみに来場された一部来場者から不満の声が上がる結果となりました。

このままではまつりの維持困難及び人気の下火化、現在の方法のみでは、これまでのような規模の花火打ち上げを続けていくことは非常に困難な状況であり、ふるさとまつりをこれから先も持続可能な形にしていくためには、新たな収益確保の手法が不可欠の状況にあります。

ついては、これまで以上に市民に愛されるイベントを目的に、本まつりのメインイベントである花火が来場者に満足いただける打上規模に要する費用を捻出するため、まつり会場の混雑を避け、花火をゆったりと鑑賞することが出来る有料観覧席を第４２回より販売する運びとなり、第４３回も継続販売するに至りました。

ユアテックスタジアム仙台から見る特別な花火体験をお楽しみください。